

総務文教常任委員会

平成30年度一般会計予算

主な内容	収納推進費	1,369万円	徴税体制強化に伴う人件費等
	再災害防止対策事業費	1億1,650万円	災害頻発箇所の工事

平成29年度一般会計補正予算

生活バス路線対策費 256万円

利用者の減少による追加分の補助金

質問 生活バス路線増対策費の増額の要因は。

答弁 羽後交通の路線のうち田沢湖1周線は、乗車人数が700人ほど増加し、補助金が減少しているが、その他の路線は乗車人数を大きく落とし、羽後交通への補助金が増加していることが要因である。

質問 市民の買い物の足という観点から、増額は理解出来る部分もあるが、増額が続くようでは路線の見直しや対策が必要でないか。

答弁 今後多くの路線で利用者が減少していくのは、目に見えている。近い将来、抜本的な対策を取らなければならないと感じている。今後は各種調査をしながら対応していきたいと考えている。

質問 県内ワーストの徴収率改善の為、市民の納税への意識向上を図ることも重要だが、どのように行うのか。

答弁 税の公平という大原則に基づき、臨戸徴収を中心に行う。市民からも多くの苦情があると思うが、しっかりと対応していく。

質問 市職員・専門徴収員へスキルアップの為に研修をしっかりと行っていく。

答弁 再災害箇所には、多くの請願・苦情等が寄せられているが、災害対応が追い付いていない。そこで災害が頻発している箇所に優先順位をつけて、建設部・農林部、総務部連携して災害対応を行っている。この事業を総合防災課で行うことで、市の対応が市民により理解が得られると考えている。

質問 総合防災課所管で、どのように災害防止事業を行っていくのか。

答弁 再災害箇所には、多くの請願・苦情等が寄せられているが、災害対応が追い付いていない。そこで災害が頻発している箇所に優先順位をつけて、建設部・農林部、総務部連携して災害対応を行っている。この事業を総合防災課で行うことで、市の対応が市民により理解が得られると考えている。

質問 悪質な滞納者への対策は、預貯金や財産等の調査をし、市もしっかりとした覚悟を持ってあたなければならない。将来的には、部外監査等の導入も必要と考えている。

質問 悪質な滞納者への対策は、預貯金や財産等の調査をし、市もしっかりとした覚悟を持ってあたなければならない。将来的には、部外監査等の導入も必要と考えている。

平成30年度予算主な質疑
ここが知りたい
議論のポイント

条例審査

原案可決

「仙北市特別職（市長・副市長・教育長）の職員及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について」（特別職の給与を財源に充てる為、給与を1年間減額する条例）

質問 給与については、附則で8年間減額することが常態化している。減額する根拠を示し、報酬審議会に諮るべきでないか。

答弁 来年度中に審議会を開いて、附則・本則で給与の額を決めるのか、意見を聞きたいと思っている。

□討論内容

賛成討論

今回の条例提案時には本則変更すべき。今回は賛成する。

反対討論

本来であれば本則を変えるべきだ。今回からは認められない。



■災害頻発箇所の対策 待ったなし！

市民福祉常任委員会

平成30年度一般会計予算

主な内容

障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金

2億3,272万円

社会福祉法人水交会が運営する障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」建設事業に対する助成。

高齢者世帯等除雪支援事業費

736万円

自力で除雪する事が困難と認められる高齢者世帯に対し、除雪費や雪下しに係る費用の一部を助成。

平成30年度 仙北市病院事業会計予算

質問 新年度の角館総合病院の外来予定患者数が1万1,712人と大幅に減少しているが、理由は何か。

答弁 新病院になって外来のリハビリテーションを減らし、入院患者の回復期と地域包括ケアのリハビリテーションの業務を増やし、収益を上げたいという目的がある。

質問 一般会計からの繰出基準の見直しを行ったが、一般会計も非常に苦しい状況であり、希望の繰入額に満たない年も出て来る可能性があると思う。その時の将来的な見直しも検討しているのか。

答弁 繰出基準のルールを決めたが、この後、未来永劫そのままかというように決してそうではない。財政事情と病院事業を勘案しながら、ルールを固定せず毎年見直しをし、財政事情に合わせた繰出措置をいただくものである。今までも、希望する額を満額支援いただいた事はないので、今の経営状況と合わせ、今後も将来的な病院事業の運営について検討していく。

反対討論

本市の医療行政の在り方、接遇、医療局の改革などの実現が不可能消極的な予算であるため反対する。

賛成討論

財政的に危機感を持ち、将来を見据えた病院の在り方、地域包括ケアシステムとの連携などを再考するよう意見を付して賛成する。

ここが知りたい 議論のポイント

平成30年度予算 主な質疑

質問 かわ舟の里角間川改築事業費について、仙北市からの入所者が2〜3人の状況の中で、この按分された金額は妥当か。

答弁 昨年10月に開かれた広域市町村圏組合の予算担当課長会議の際、組合経費の負担割合について意見が出され、一貫性、妥当性、平等性等を検証し、3市町で納得する算定方法に変更してはどうかという話が出た。

仙北市では、実績利用人数が少な

く、若干の疑問を感じている事を伝え、その部分について、実績人数で再度計算をしていただいたが、金額的にあまり変わらなかったという経緯がある。

質問 高齢者等除雪支援事業費について、この冬のような豪雪の場合、年金で暮らす高齢者世帯では、除排雪に係る費用が生活を圧迫するといふ声を耳にする。財政状況が厳しい事は承知の上だが、この制度を数回利用できる方向で検討できないものか。

答弁 これまでも、業者登録の呼びかけなど勘案措置は取っているが、今年度は積雪が増えている状況の為に、費用と回数については検討したいと思う。今年度については、社会福祉

協議会と連携しての除雪ボランティアや建設業協会からの申し出などで除雪を行った事もある。包括支援体制整備事業で财源的な部分も含め、無理が生じる場合もあるので、地域での支え合いも強化していかないといけないのではないかと考えている。

質問 財政状況を考慮すると、地域運営体をはじめ、各組織・団体の協力を得て、高齢者世帯の状況をパトリールしながら、除雪支援をしていく体制も考えていかなければいけないと考える。関係する部署と連携を取りながら進めていくべきではないか。

答弁 今後の除雪支援体制については、関係機関も含めて連携を深め進めていきたい。

産業建設常任委員会

平成30年度仙北市一般会計予算

主な内容	技能功労者表彰事業費	18万円
	業界の発展、技能向上促進に寄与した優良技能者を表彰	
	通農体験・農業定住（五感楽農）事業費	200万円
	都会シニア退職後の夫婦が対象、JR 東日本と共催、農業体験（一泊二日）	
	仙北市特別栽培米普及事業費補助金	220万円
	仙北市堆肥センターの有機肥料を利用し、有機栽培米・野菜等に取り組む農家に助成	
	産地パワーアップ事業費補助金	3,007万円
ライスセンターの設備を增强するもの		
仙北市堆肥センター管理運営費	1,598万円	
臨時職員賃金 重機燃料費 電気代など		
中山間地域区画整理事業費補助金	500万円	
圃場整備対象外の圃場で、畦畔除去による区画拡大を図る取り組みへ補助する。		
新・秋田の行事 2018 開催費補助金	690万円	
10月6～7日 角館町で開催 県への負担金 警備保障会社への支払い		

質問 「五感楽農事業」って何ですか。

答弁 秋田新幹線を利用して、仙北市の農業体験をするツアーである。7月・9月・11月を計画している。やがては移住定住に結び付くようにしたい。

質問 作業後の管理は農家民宿がやるのか。農家民宿に入る経費は。

答弁 管理は農家民宿がやることになる。農業体験料、食事代、宿泊料合わせて、120000円支払われる。

質問 畦畔除去に一反歩十万円として、低額にできた時はどうする。

答弁 しっかり精査する。一人儲けにならないようにする。

質問 仙北市堆肥センターの肥料は、いつから利用できるのか。

答弁 稲作の春作業には間に合わないが、野菜作りには間に合う。

質問 肥料の代金はいくらになるのか。

答弁 他の施設と比べて、いくらからでも安く提供したい。

平成30年度予算 主な質疑
議論のポイント
ここが知りたい

意見書提出

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

主な内容

- ・政治決断で最低賃金を大幅に引き上げる事。
- ・政府は、全国一律最低賃金制度の確立など地域間格差を縮小させるための施策を進めること。
- ・政府は中小企業への支援策を拡充する事。など



■堆肥センター 4月1日始動開始